

## 三学期、図書館で本のめくもりを感じよう

2学期末に「高校1年生の読書習慣に関する調査」があり、1年生は本を読む人や図書館を利用する人が大変少ないことが分かりました。本を読みたいと思ってもなかなか時間がとれていないようです。1年生だけではなく2年生も同じ状況です。毎日少しずつでも読書の時間を作りましょう。3学期はもっと多くの人が図書館を利用してくれることを期待しています。

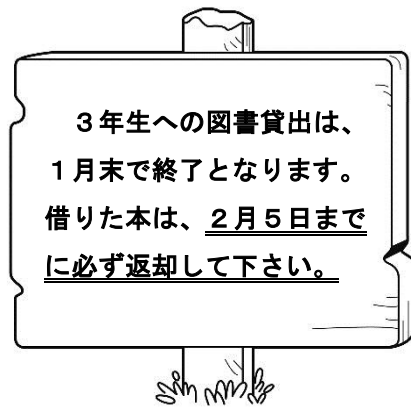
## 今年のトップは108冊、多読賞は2名が受賞

3年生は卒業が近づいてきました。3年間の図書貸出数が100冊以上の生徒には図書館多読賞が贈られます。今年度は2名を表彰予定です。上位10名の貸出数は下記のとおりです。3年間積み重ねてきた読書は、将来様々な場面で役に立つと思います。卒業後もぜひ積極的に読書をして下さい。

3年生

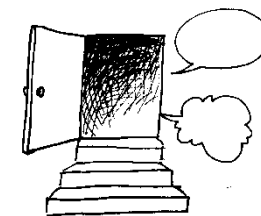
### 在学中図書貸出数トップ10

1	3年1組	小野香菜さん	108冊
2	3年1組	日野遥香さん	101冊
3	3年1組	鬼塚直子さん	82冊
4	3年1組	北林和さん	81冊
5	3年6組	日隈広裕さん	78冊
6	3年6組	阿南聡馬さん	57冊
7	3年3組	黒田さとみさん	53冊
8	3年3組	一ノ宮彩夏さん	42冊
8	3年5組	江隈文花さん	41冊
10	3年6組	宿利慧さん	38冊



※貸出数は、1、2年時の森高・玖珠農高での貸出も合算しています。

## 図書委員おすすめ本



### 『ジョン万次郎 海を渡ったサムライ魂』 マーギー・プロイス著/金原瑞人訳



(集英社)

アメリカ東部に暮らした初めての日本人、ジョン万次郎(中浜万次郎)。言葉も習慣も異なる地で、いじめや差別にくじけることなく、強く生き抜いていった秘訣は何だったのだろうか?アメリカに残された記録や資料をもとに、日本が誇るバイリンガル、ジョン万次郎の青春時代を鮮やかに描いた物語です。強く生き抜いていくにはどうすればいいのかを考えさせられる本です。ぜひ読んでみて下さい。(3-5 佐藤)

### 『三匹のおっさん』有川浩著

キヨ・ノリ・シゲ、悪ガキだった3人が定年を迎え、暇を持て余すとき、“3匹のおっさん”として、ご町内の悪をばんばん裁いていく。ある時は悪徳業者を、ある時は詐欺師を、大きな悪から小さな悪まで元気なおっさん達が相手になってやる!読めばスカッとする事間違いありません。みなさん是非読んでみて下さい。(3-6 日隈)



(文藝春秋)

### 『バッテリー』あさのあつこ著



(集英社)

中学入学を控えた原田巧。彼は天才ピッチャーとして絶大な自信を持つと同時に、簡単に他者を切り捨てる性格でした。そこに同級生の永倉豪がバッテリーを組んで欲しいと言います。これはその原田巧と、巧の才能にひけをとらないキャッチャーになろうとする永倉豪との話です。2人の友情が描かれていてオススメです。(3-2 梶原)

## Teacher Recommend Books

先生方のおすすめの本の紹介と突撃インタビューのコーナーです。



第5回目は、国語担当の **塩月美和先生**です。

おすすめの本は『**星の王子さま**』サンテグジュペリ著

大学時代に読んだ本ですが、今でも一つ一つの言葉が宝物です。例えば、「悲しい時には夕焼けを見たくなくなる」という王子さまの言葉。最初は悲しい時に淋しい夕焼けを見たら、もっと悲しくなるのではないかと不思議に思いました。でも自分が本当に悲しい時に、朝日のように明るく元気なものに出会うと、悲しみが強調されてもっと悲しくなることに気づいたのです。王子さまが会った狐がこう言います。「本当に大切なものはね、目には見えないんだよ」この作品は「大人」のために書かれた童話と作者は言っています。「大人」になりつつある今だから感じる思いがきつとあるはず。ぜひ読んでみて下さい。

Q. どんなジャンルの本を読みますか？

A. 推理小説や歴史小説が好きです。

Q. 本を読むことで得られるものは？

A. 心がゆさぶられたり、自分の生活をあらためて見直したりと、自分の人生が自分の体験だけでなく豊かにできている気がします。そして、本を読んでいる間は現実の慌ただしさ等々忘れられるので、忙しいときほど本を読みたくくなります。

### 【生徒に一言!!】

**読みながら、涙がこぼれてどうしようも**

**なかった本もあります。皆さんにも、**

**そんな本との出会いがありますように。**

ちなみに今思い出す私にとってのその本は、

『塩狩峠』三浦綾子著

『風が強く吹いている』三浦しん著

『壬生義士伝』浅田次郎著 などなど。

塩月先生、お忙しい中ご協力ありがとうございました！

## 映画を読み、図書館へ

『はなちゃんのみそ汁』安武信吾・千恵・はな著 (文藝春秋)

「私はがんになった後に、ムスメを授かりました。だから、この子を残して、死ななければなりません」。33歳で逝った母が5歳の娘と交わした約束、それは「毎朝、自分でみそ汁をつくること」。だから、はなちゃんは毎朝みそ汁をつくる。生きることは食べること。“生きる力”に心を揺さぶられる感動の記録。



映画化！1/9 (土) 公開



## 新着図書紹介(1月)

『君の脾臓をたべたい』住野よる著

主人公が偶然拾った1冊の文庫本。それはクラスメイトが綴った、秘密の日記帳だった——。タイトルからは想像できない爽やかな読後感。二人の関係がせつなくて、泣ける青春小説です。



(双葉社)

『**ぼくは科学の力で世界を変えることに決めた**』

ジャック・アンドレイカ/マシュー・リシアック著 中里京子訳



(講談社)

治療が難しいガンの早期発見法を開発した15歳。いじめ、うつ症状、恩人の死…多くの困難を乗り越え、前に進み続ける“科学オタク”少年の物語。

- 070 『池上彰に聞くどうなってるの?ニッポンの新聞』池上彰著 (東京堂出版)
- 141 『スタンフォードの自分を変える教室』ケリー・マクゴニガル著 神崎朗子訳 (大和書房)
- 311 『高校生のための政治学 続 戦争のない平和な世界のつくり方』杉山眞木著 (東洋出版)
- 318 『図解よくわかる地方議会のしくみ』武田正孝著 (学陽書房)
- 330 『経済のニュースが面白いほどスッキリわかる本』村中和之著 (KADOKAWA)
- 369.14 『渋谷ギャル店員ひとりではじめてのアフリカボランティア』栗山さやか著 (金の星社)
- 369.7 『〈図解〉超少子高齢・無縁社会と地域福祉』川上富雄著 (学文社)
- 596 『はなちゃん12歳の台所』安武はな著 タカコナカムラレンビ監修 (家の光協会)
- 611 『儲かる農業論 エネルギー兼業農家のすすめ』金子勝著 武本俊彦著 (集英社新書)
- 760 『吉松隆の図解クラシック音楽大事典』吉松隆イラスト・文 (学研パブリッシング)
- 783.48 『不動の魂 桜の15番ラグビーと歩む』五郎丸歩著 大友信彦編 (実業之日本社)
- 913.6 『人魚の眠る家』東野圭吾著 (幻冬舎)
- 913.6 『だれもが知ってる小さな国』有川浩著 (講談社)
- 913.6 『殺人鬼の献立表』あさのあつこ著 (徳間書店)
- 913.6 『下町ロケット 2 ガウディ計画』池井戸潤著 (小学館)
- 913.6 『くるしま童話名作選 1~6』久留島武彦著 (幻冬舎)

